校友時報 号外

第七十二回全国高校野球 秋田大会

秋商に圧勝

一昨年の二回戦と同カード

能代 2000202228
秋商 0010000011
（八回コールド勝ち）

昨日の試合で、本校は秋田商高を破った。

この試合は、一昨年の第二試合と同カードで一昨年も今年同様7－0の八回コールドで秋商を破っている。

一回表この日センターを守っていたトップバッターの田中はショートフライに打ち取られたが、二番（セカンド）須合はこの試合初ヒットで一塁へ、三番（ショート）袴田が須合に続きヒットをはなった。しかし一塁ランナーは三塁を狙ってタッチアウト、ツーアウトまで追い込まれて四番（レフト）大山はフォアボールで出塁ランナー一・二塁のチャンスに五番（サード）菊池〔和〕はツーベースヒットで先取点を挙げた。続く、六番（ピッチャー）工藤のヒットもありもう一点追加した。初回二得点を上げてさいさきのいい出だしとなった。　一回裏ピッチャー工藤はヒット一本を打たれたものの、立ち上がりは上々で三振を取るなど余裕あるのピッチングをみせてこの回を四人で打ちとった。

二回は両校共に四人で攻撃を終わる。三回の裏秋商は八番からの攻撃で工藤は八番を三振、九番をゴロに打って取ったが、一番にツーベースヒットを打たれ、さらに二番にタイムリーヒットを打たれ一点失ったが、ランナーが二塁ベースを廻り過ぎて戻る際に足をすべらせタッチアウト、チェンジとなり後続点を与えなかった。

後半能代高校は巧みに秋田商業エラーをさそい、着々と得点を重ね、投げてはピッチャー工藤が気迫のピッチングで追加点を許さず、八回コールド8－1で二時間十五分の試合は能代高校の圧勝で幕を閉じた。

☆今回の甲子園予選初日は、悪天候のため十九日の日程が二十日に順延となった。昨日も試合直前までは雲行きもあやしく、心配だったが、試合中盤になると焼け付くような日差しとなり夏を感じた。

めざせ！甲子園！

一年生応援に参加

今回の試合の応援のために、一年生がバス五台に分乗して長沼球場まで出かけた。最初のうち、はずかしいのか、あまり声を出していなかったが、後半にさしかかると自ら進んでをウェーブをやりだすなど、積極的に参加していた。今回は二・三年生は球場での応援ができなかったのが残念に思われる好試合だった。

圧倒的ホームの威力発揮

きびきびした秋商応援団

相手方の秋田商業の応援団は団員15・6人と生徒5・60人、それに控えの選手10人ほどが、スピーディーなブラスバンドの演奏に合わせて息のあった応援を展開していた。「秋商一球入魂」の幕をバックに赤い鉢巻を後ろまでたらし、労性になっても一生懸命声を出していた。控えの選手は1メートルもある大きなメガホンを準備し、必死に声援を送っていたが、その声は本校の応援席まで響いていた。

尾形監督冷静な日

今回の試合は投打共に大変良かった。しかし、気合いが足りなかった。前半はみんな気合いが入っていたが、後半にはいるとどんどん落ちてしまったように思う。次回の対戦相手は自分の後輩が監督をしている鷹巣高校なので、絶対負けないように頑張りたい。

選手同様、うれしさを隠しきれない尾形監督だったが、「今回はどこまで行けそうですか？」という質問に対し、「もちろん甲子園！・・・といいたいところだが、そういうとプレッシャーがかかるので・・・」と苦笑いしていた。

今回の試合の選手

投	工藤　栄	3年
捕	渡辺　幸一	3年
一塁	成田　裕幸	3年
二塁	須合　亮	3年
三塁	菊地　和仁	3年
遊	袴田　智毅	3年
左	大山　隆幸	3年
中	田中　栄光	3年
右	菊池　忠孝	3年

校友時報 号外
平成2年7月23日発行
能代高校所蔵

出た！逆転満塁ホームラン

能代 0000007500 12
鷹巣 3000000300 6

昨日の長沼球場第二試合で、本校は鷹巣高校をくだし、三回戦進出を決めた。

一回表ピッチャー工藤は立ち上がりを攻められ、コントロールが定まらないまま、ワイルドピッチやフォアボールでワンアウトフルベースに追い込まれ、続く五番（キャッチャー）杉渕にタイムリーヒットを打たれ三点を失い、苦しい出だしとなった。

その後両校共に無得点で回は6回表、先頭打者はファーストフライに倒れたものの、三番（ショート）袴田はヒットで出塁、続く四番（レフト）大山と五番（サード）菊池〔和〕の連続安打でワンアウトフルベースとなり今日の試合初めての得点チャンス、打順は六番（ピッチャー）工藤、工藤の打球はボテボテのサードゴロ、ダブルプレーになるかに見えたがサードのエラーに助けられてセーフとなり、今試合初得点はピッチャー自らたたき出すこととなった。その後も七番フォアボール、八番ホームスチールで同点と得点をかさね、九番（キャッチャー）渡辺のショートゴロでツーアウトに追い込まれたものの、なおも満塁のチャンスは変わらずバッターボックスは一番（センター）田中、田中は一打逆転のチャンスにレフトスタンドへ大きな満塁ホームラン、一気に試合の流れをかえた。

わが校は七回表にも五番（サード）菊池〔和〕のだめおしスリーランホームランが飛び出し、試合を決定づけた。七回裏に鷹巣は一番（ショート）田中〔聡〕のスリーベースヒットにより六点差と詰め寄ったものの、時すでに遅く、能代高校はコールドゲームを逃しはしたが、八回・九回を無得点に押さえ十二対六で第一試合に続き圧勝した。

今回の試合の選手

（スターティングメンバー）

投	工藤　栄	3年
捕	渡辺　幸一	3年
一塁	成田　裕幸	3年
二塁	須合　亮	3年
三塁	菊池　和仁	3年
遊	袴田　智毅	3年
左	大山　隆幸	3年
中	田中　栄光	3年
右	菊池　忠孝	3年